

					決算事項別明細書			P53	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署			土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		13	道路橋りょう総務費			款	08	土木費	
事業開始年度			令和7年度			項	02	道路橋りょう費	
事業進捗度			－			目	01	道路橋りょう総務費	
当初予算額			18,752,000 円		目的	市道の認定や道路改良等に伴う台帳の補正や整備を行い最新の基礎資料とする。道路賠償責任保険及び市民活動補償保険へ加入し、市道の管理瑕疵による事故や市民活動中の事故に対応する。			
予算現額			18,213,000 円						
決算額 A			17,966,180 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地方債			0 円					
	その他	諸収入	400 円						
	一般財源		17,965,780 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		22,689,980 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【道路橋りょう総務費】					1,973,280円	0円	0円	400円	1,972,880円
道路賠償責任保険等に参加し、市の瑕疵による事故や市民活動補償制度に該当する補償に対応した。									
●安来市市民活動補償制度保険料					428,380 円				
・保険適用件数 2件									
●損害賠償責任保険料					1,432,370 円				
・市道延長 988km									
・農道延長 150km									
・林道延長 30km									
・その他道路 1km									
●その他					112,530 円				
・普通旅費（研修等）									
【道路台帳整備事業】					15,992,900円	0円	0円	0円	15,992,900円
市道の認定・廃止や道路改良等に伴う構造・形態の変化を反映させた道路台帳の補正・整備を行い、最新の基礎資料を作成した。									
●道路台帳業務委託料					15,992,900 円				
・令和7年度 安来市道路台帳補正業務									

				決算事項別明細書			P54	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		16	道路維持費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度			－			目	02	道路維持費
当 初 予 算 額			212,910,000 円		目的	市道の維持管理・修繕・除雪等を行い、安全で円滑な道路網を確保する。		
予 算 現 額			416,434,000 円					
決 算 額 A			398,173,354 円					
財源内訳	国・県支出金	国県	25,829,820 円					
	地 方 債	公共施設外	15,700,000 円					
	そ の 他	基金外	15,043,776 円					
	一 般 財 源		341,599,758 円					
人件費コスト B		2.4人役	18,895,200 円		総事業費 A+B		417,068,554 円	
【事業名称】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【道路維持事業】			141,323,464円	8,072,600円	2,900,000円	43,776円	130,307,088円	
● 会計年度任用職員報酬、手当外			8,928,963円					
● 消耗品費			1,961,892円					
● 光熱水費、燃料費			3,835,265円					
● 修繕料			1,498,475円					
● 手数料			4,020,120円					
● ポンプ点検委託料			1,870,000円					
● 市道維持補修業務委託料			95,977,200円					
● 市道樹木維持管理委託料			3,989,700円					
● 工事請負費			15,664,000円 ・ 道路維持修繕工事 10件					
● 道路補修用材料費			3,577,849円					
【照明灯LED化賃貸借事業】			15,074,400円	0円	0円	15,000,000円	74,400円	
リース事業（メンテナンスを含む。）により安来市所管の屋外照明灯のLED化を進める。（10年契約2年目）								
● LED照明器具及び関連機器借上料			15,074,400円					
								
LED照明灯			事業ステッカー					
【道路環境整備（舗装修繕）事業】			30,296,200円	16,000,000円	12,800,000円	0円	1,496,200円	
舗装の打ち換え・区画線等を実施し、安全な通行の確保に努めた。								
● 工事請負費			30,296,200円 ・ 舗装修繕工事 6件					
【道路ストック総点検事業】			836,000円	447,260円	0円	0円	388,740円	
道路点検を実施し、危険箇所を抽出した。								
● 総点検委託料			836,000円					
【除雪業務】			210,574,290円	1,275,960円	0円	0円	209,298,330円	
冬期の交通を確保するため、バス路線及び幹線道路等を中心に、除雪及び凍結防止剤の散布を行った。								
● 除雪業務委託料			209,477,073円					
● 施設借上料外			1,097,217円					

【除雪機械運転資格取得支援事業】	69,000円	34,000円	0円	0円	35,000円
------------------	---------	---------	----	----	---------

除雪機械の運転手の十分な交代要員の確保と運転手の高齢化に対応するため、除雪機械の運転手となる人材の確保と後継者の育成を目的として、資格取得に対する助成金を交付した（補助額上限：補助対象経費の2/3 ※1人につき10万円）

● 除雪機械運転資格取得支援事業補助金	69,000円・1名
---------------------	------------

【除雪車整備事業】	0円	0円	0円	0円	0円
● 機械器具費外	0円				



※翌年度繰越額	機械器具費外	15,435,000円
---------	--------	-------------

除雪体制の確保のため、除雪車両（8t級ドーザ）1台を購入し西谷地区に配備する計画としていたが、部品納入の調達延期により年度内納入が困難となった。

				決算事項別明細書			P54
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業		19	道路災害防除事業費			款	08 土木費
事業開始年度		令和7年度		項		02 道路橋りょう費	
事業進捗度		－		目		02 道路維持費	
当 初 予 算 額			48,600,000 円		目的	市道法面の落石・土砂崩れ等の防止対策を施し、交通の安全を確保する。	
予 算 現 額			45,600,000 円				
決 算 額 A			44,269,326 円				
財源内訳	国・県支出金	国	28,271,400 円				
	地 方 債	公共	14,400,000 円				
	そ の 他		0 円				
	一 般 財 源		1,597,926 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		48,993,126 円
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源							
【道路災害防除事業】 44,269,326円 28,271,400円 14,400,000円 0円 1,597,926円							
災害の未然防止を目的として法面の危険箇所について対策を施し、交通安全と災害に強い道路ネットワークの整備を行った。							
● 工事請負費 36,014,000円							
工事名 工事概要 工期（着工～実地完成）							
・ 防災・安全交付金事業 落石防止網工 A=178m2 R7.7.4～R7.12.26							
矢原福富線災害防除工事 ロープ伏工 N=1箇所							
・ 安全確保交付金 落石防止網工 A=485m2 R7.8.22～R7.12.26							
和田南線災害防除工事							
● 設計委託料 7,999,200円							
業務名 業務概要 工期（着工～実地完成）							
・ 防災・安全交付金事業 用地測量 A=8.0万m2 R7.11.26～R8.3.19							
井尻福富線測量設計業務（災害防除）							
● 消耗品費 256,126円							
防災・安全交付金事業 矢原福富線災害防除工事							
							
着工前				竣工			
安全確保交付金 和田南線災害防除工事							
							
着工前				竣工			

【繰越明許】

決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	22	一般市道改良費			款	08	土木費
事業開始年度		令和6年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		－			目	03	道路新設改良費
当 初 予 算 額		0 円		目的	幹線道路への接続、交通渋滞の解消、付近の農業及び地場産業の活動を支援する道路網の整備により、機能的交通体系の形成を図る。		
予 算 現 額		36,300,000 円					
決 算 額 A		34,021,900 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地 方 債	過疎	30,700,000 円				
	そ の 他		0 円				
	一 般 財 源		3,321,900 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B		34,021,900 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【一般市道改良事業】	34,021,900円	0円	30,700,000円	0円	3,321,900円

まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、市民生活に密着した道路整備を進めた。その中でも緊急性・重要性の高い路線を中心に測量等を行い、地域の交通体系の諸問題解決に努めた。

●工事請負費

24,768,700円

工事名

工事概要

工期（着工～実地完成）

・加茂1号線道路改良工事

道路改良延長 L=149.9m

R6.9.12～R7.4.25

●測量委託料

9,253,200円

業務名

業務概要

工期（着工～実地完成）

・猪子塚日白線測量設計業務

道路測量設計 L=0.31km

R6.12.5～R7.6.27

・切川周辺道路整備概略検討業務

道路概略検討 一式

R7.1.24～R7.6.27

加茂1号線（着工前）



加茂1号線（完成）



決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課		
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	22	一般市道改良費			款	08	土木費	
事業開始年度		令和7年度			項	02	道路橋りょう費	
事業進捗度		－			目	03	道路新設改良費	
当初予算額		60,722,000 円		目的	幹線道路への接続、交通渋滞の解消、付近の農業及び地場産業の活動を支援する道路網の整備により、機能的交通体系の形成を図る。			
予算現額		105,022,000 円						
決算額 A		58,292,318 円						
財源内訳	国・県支出金		国					5,866,285 円
	地方債		過疎					40,300,000 円
	その他							0 円
	一般財源			12,126,033 円				
人件費コスト B		1.2人役	9,447,600 円	総事業費 A+B		67,739,918 円		
【事業名称】事業費国・県支出金地方債その他一般財源								
【一般市道改良事業】48,324,118円0円36,300,000円0円12,024,118円								
まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、市民生活に密着した道路整備を進めた。その中でも緊急性・重要性の高い路線を中心に測量等を行い、地域の交通体系の諸問題解決に努めた。								
●工事請負費32,230,000円								
工事名				工事概要		工期（着工～実地完成）		
・大塚住宅4・5号線道路改良工事（その1）				道路改良延長 L=92m		R7.7.4～R8.1.30		
・加茂3号線道路改良工事（前払金）				道路改良延長 L=110m		R7.10.24～R8.4.30		
●物件移転補償費10,215,836円								
・清井新御堂線道路改良工事に伴う水道管移転補償ほか								
●土地購入費2,862,710円								
・市道宇賀荘清瀬線、清井新御堂線道路改良事業に伴う土地購入ほか								
●その他（消耗品費、保守点検委託料ほか）3,015,572円								
								
大塚住宅4号線（着工前）				大塚住宅4号線（完成）				
【一般市道改良事業（補助事業）】9,968,200円5,866,285円4,000,000円0円101,915円								
通学路の安全確保を図るため補助事業により猪子塚日白線の詳細設計業務を行った。								
●測量委託料9,968,200円								
業務名				業務概要		工期（着工～実地完成）		
・防災・安全交付金事業				道路詳細設計 L=0.31km		R7.9.18～R8.3.19		
猪子塚日白線詳細設計業務								
※翌年度繰越額 工事請負費43,513,000円								
工事名				業務概要		工期（着工～実地完成）		
・加茂3号線道路改良工事				道路改良延長 L=110m		R7.10.24～R8.4.30		
・大塚住宅4・5号線道路改良工事（その2）				道路改良延長 L=105m		R8.3.27～R8.7.31		
大塚住宅4・5号線道路改良工事（その2）については、関連する市営大塚団地整備事業との調整により、加茂3号線道路改良工事については、横断用自由勾配側溝設置に係る資材不足により製作期間に不測の日数を要したことから、各事業の年度内完了が困難となった。								

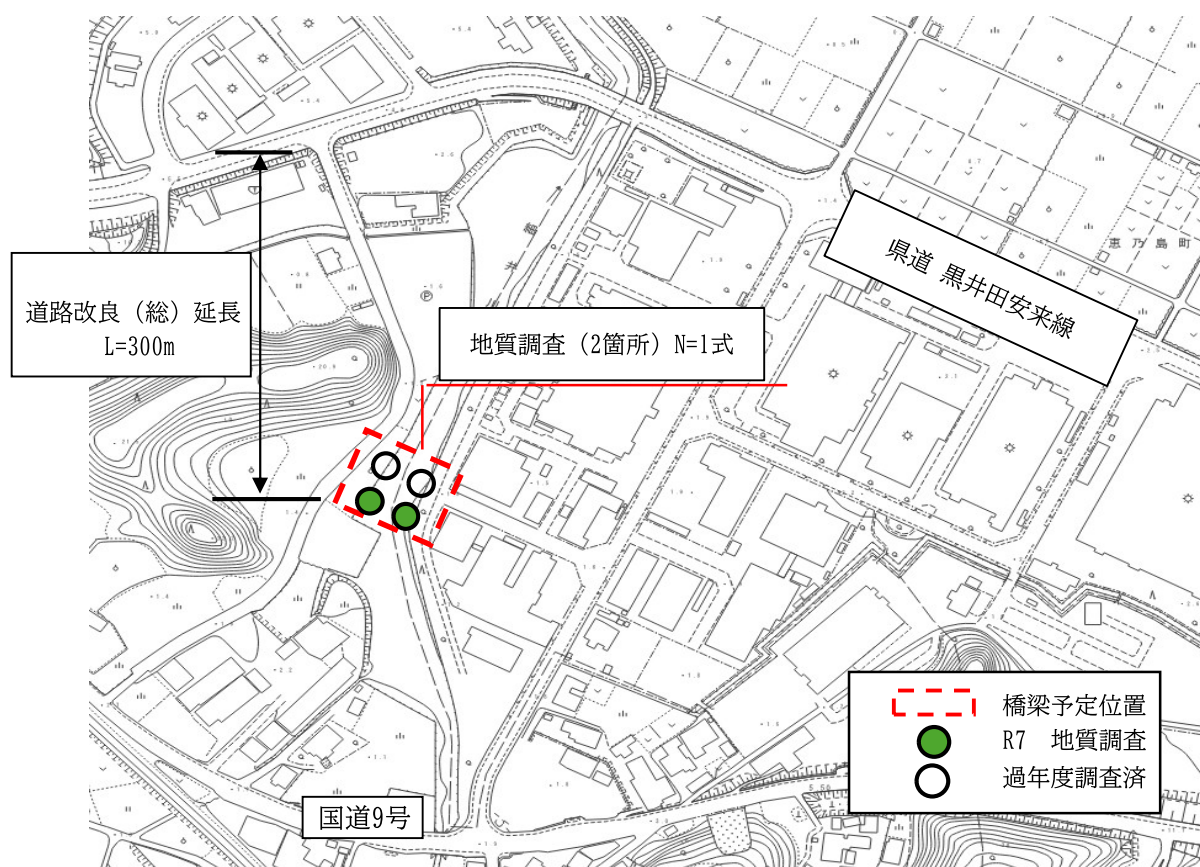
決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		都市政策課	
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	25	県事業負担金費			款	08	土木費
事業開始年度		令和7年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		－			目	03	道路新設改良費
当初予算額		40,850,000 円		目的	県が施工する工事に対し費用負担することにより、生活基盤の整備促進を図る。		
予算現額		45,775,000 円					
決算額 A		44,373,347 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	公共外	40,600,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		3,773,347 円				
人件費コスト B		0.3人役	2,361,900 円	総事業費 A+B		46,735,247 円	
【事業名称】							
【県事業負担金費】		44,373,347円		0円		40,600,000円	
令和7年度に島根県が施行する街路事業及び急傾斜地崩壊対策事業について、費用負担をすることによって生活基盤の改善を図った。							
● 街路事業（防災安全交付金事業）							
都市計画道路飯島線		28,725,000円					
● 県単街路事業							
都市計画道路飯島線		750,000円					
● 県単急傾斜地崩壊対策事業							
矢田地区		14,898,347円					
							
街路事業 都市計画道路飯島線				県単急傾斜地崩壊対策事業 矢田地区			

				決算事項別明細書			P54	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		28	交通安全施設整備事業費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度			－			目	03	道路新設改良費
当初予算額			21,000,000 円		目的	交通安全施設の新設・補修を行い、交通環境の整備と交通事故の発生防止に努める。		
予算現額			21,000,000 円					
決算額 A			20,549,300 円					
財源内訳	国・県支出金		国	2,960,715 円				
	地方債		公共施設外	12,000,000 円				
	その他			0 円				
	一般財源			5,588,585 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		25,273,100 円	
【事業名称】								
【交通安全施設整備事業】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
			15,501,400円	0円	10,200,000円	0円	5,301,400円	
カーブミラーや防護柵の設置、取替え、照明灯の支柱取替え等交通安全施設の新設・修繕を行い市道交通環境の整備・改善を図った。								
● 交通安全施設整備工事 15,501,400円								
工事概要								
・カーブミラー 9件新設 ・防護柵 4件修繕								
・区画 1件修繕 ・照明灯支柱 3件修繕								
 								
防護柵修繕 着手前 防護柵修繕 竣工								
【交通安全対策事業】 5,047,900円 2,960,715円 1,800,000円 0円 287,185円								
安来市内全域の通学路及び市街地を重点とした生活道路における交通安全対策を進め、歩行者の交通安全確保を図るため、区画線補修や舗装工事等を行った。								
● 工事名								
・須崎細井線他交通安全施設工事								
・安来港飯島線交通安全施設整備工事								
・上坂田渡り線舗装修繕工事								
・安来宮内線舗装修繕工事								
工事概要								
区画線工 L=2101m R7.10.18～R8.2.27								
カーブミラー N=1箇所								
車線分離標 N=6基 R7.11.18～R8.2.27								
舗装工 223.0m R7.11.21～R8.2.27								
舗装工 36.5m R8.2.16～R8.2.27								
工期（着工～実地完成）								

●調査委託料	9,991,300 円		
業務名		業務概要	工期（着工～実地完成）
・社会資本整備総合交付金事業 高留鼻線地質調査業務委託		地質調査	R7.10.21～R8.3.19



				決算事項別明細書				P54	
大事業		50	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		35	杉谷線道路改良事業費				款	08	土木費
事業開始年度			平成28年度				項	02	道路橋りょう費
事業進捗度			50%				目	03	道路新設改良費
当初予算額			90,600,000 円			目的	雲南方面や広瀬方面からのアクセス道路である杉谷線を改良し、安全性の高い道路として整備を行う。		
予算現額			87,713,000 円						
決算額 A			87,301,644 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地方債		辺地	87,300,000 円					
	その他			0 円					
	一般財源			1,644 円					
人件費コスト B			0.8人役	6,298,400 円		総事業費 A+B		93,600,044 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【杉谷線道路改良事業】87,301,644円 0円 87,300,000円 0円 1,644円									
本路線は、国道432号と主要地方道安来木次線を結ぶ一級道路であり、主要幹線道路に通じる唯一の生活道路である。未改良区間においては突角により視距が悪く、また、通学バスや冬季の除雪作業車等のすれ違う箇所が少ないため、安全性の高い道路として整備が急がれる。これまで、4期にわたり3.5Kmを改良してきた。残る奥田原地区までの2.6kmの未改良区間の内、5期区間の約0.88kmの道路改良を実施する。									
令和7年度は、道路改良工事を実施した。									
● 工事請負費 87,112,300円									
工事名 工事概要 工期（着工～実地完成）									
・杉谷線道路改良工事 道路改良延長 L=317.1m R7.5.15～R7.12.19									
● 消耗品費 189,344円									
杉谷線道路改良工事									
									
着工前					竣工				

【繰越明許】

決算事項別明細書

P54

大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		40	安来港飯島線道路改良事業費			款	08	土木費
事業開始年度			平成27年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度			－			目	03	道路新設改良費
当 初 予 算 額			0 円		目的	県が進めている安来木次線の整備にあわせ、小中学校の通学路でもある安来港飯島線を両側歩道を有する路線として改良し、児童生徒の通学時の安全を確保する。		
予 算 現 額			97,640,000 円					
決 算 額 A			91,745,000 円					
財源内訳	国・県支出金	国	51,149,870 円					
	地 方 債	過疎	40,500,000 円					
	そ の 他		0 円					
	一 般 財 源		95,130 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		91,745,000 円	
【事業名称】								
【安来港飯島線道路改良事業】			91,745,000円	51,149,870円	40,500,000円	0円	95,130円	
本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道に小中学校があり、通学路として多数の児童・生徒が利用しているが交通量も多く非常に危険な状況であることから、児童・生徒の通学時の安全確保等が急務となっている。								
このため、本事業により両側歩道及び車道の拡幅整備を行い、安全かつ快適な交通の確保を図る。本年度は、主に道路改良工事を行った。								
● 工事請負費			55,479,600円					
工事名			工事概要			工期（着工～実地完成）		
・ R6交通安全対策事業			道路改良L=109m			R6.5.25～R8.3.19		
安来港飯島線道路改良工事（その1）								
・ R6交通安全対策事業			道路改良L=103.7m			R6.9.10～R8.3.19		
安来港飯島線道路改良工事（その3）								
● 物件移転補償費			36,265,400円					
・ 水道施設								

決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	40	安来港飯島線道路改良事業費		款	08	土木費
事業開始年度		平成27年度		項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		88%		目	03	道路新設改良費
当初予算額			630,100,000 円		目的	県が進めている安来木次線の整備にあわせ、小中学校の通学路でもある安来港飯島線を両側歩道を有する路線として改良し、児童生徒の通学時の安全を確保する。
予算現額			631,100,000 円			
決算額 A			532,881,627 円			
財源内訳	国・県支出金	国	303,713,924 円			
	地方債	過疎	229,100,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		67,703 円			
人件費コスト B		2.8人役	22,044,400 円		総事業費 A+B	554,926,027 円

【事業名称】

事業費

国・県支出金

地方債

その他

一般財源

【安来港飯島線道路改良事業】

532,881,627円

303,713,924円

229,100,000円

0円

67,703円

本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道に小中学校があり、通学路として多数の児童・生徒が利用しているが交通量も多く非常に危険な状況であることから、児童・生徒の通学時の安全確保等が急務となっている。

このため、本事業により両側歩道及び車道の拡幅整備を行い、安全かつ快適な交通の確保を図る。令和7年度は、主に吉田橋橋梁上部工事及び道路改良工事を行った。

● 工事請負費

463,574,870円

工事名

工事概要

工期（着工～実地完成）

・ 交通安全対策事業

鋼橋上部工事

R6.5.3～R7.10.29

安来港飯島線道路改良工事（橋梁上部工）

・ 安来港飯島線道路改良工事

橋梁附属物工

R7.8.21～R7.10.29

（橋梁上部工）付帯工事

・ 交通安全対策事業

道路改良L=229m

R8.2.20～R8.9.30

安来港飯島線道路改良工事（その1）

・ R6交通安全対策事業

道路改良L=109m

R6.5.25～R8.3.19

安来港飯島線道路改良工事（その1）

・ R6交通安全対策事業

道路改良L=103.7m

R6.9.10～R8.3.19

安来港飯島線道路改良工事（その3）

● 設計委託料

1,590,600円

● 物件移転補償費

64,255,272円

・ 水道施設、電気通信施設

● 敷地借上料

2,950,605円

・ 仮道路用地

● 消耗品費

310,792円

● 燃料費

199,488円

荒島方面

安来方面



道路改良工事

安来方面

荒島方面



吉田橋上部工工事完了

※翌年度繰越額 工事請負費

67,137,000円

物件移転（水道ほか）の協議について不測の日数を要したため。

【繰越明許】

決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	43	中谷1号線道路改良事業費	款 08 土木費	
事業開始年度		平成29年度	項 02 道路橋りょう費	
事業進捗度		—	目 03 道路新設改良費	
当初予算額		0 円	目的	上吉田地区と大塚地区の往来の利便性を図るため、現在行き止まりの道路である中谷1号線を重要なバイパス道路として、ほ場整備事業にあわせて整備を行う。
予算現額		3,000,000 円		
決算額 A		2,114,830 円		
財源内訳	国・県支出金	国 1,126,666 円		
	地方債	0 円		
	その他	0 円		
	一般財源	988,164 円		
人件費コスト B	0.0人役	0 円	総事業費 A+B	2,114,830 円

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

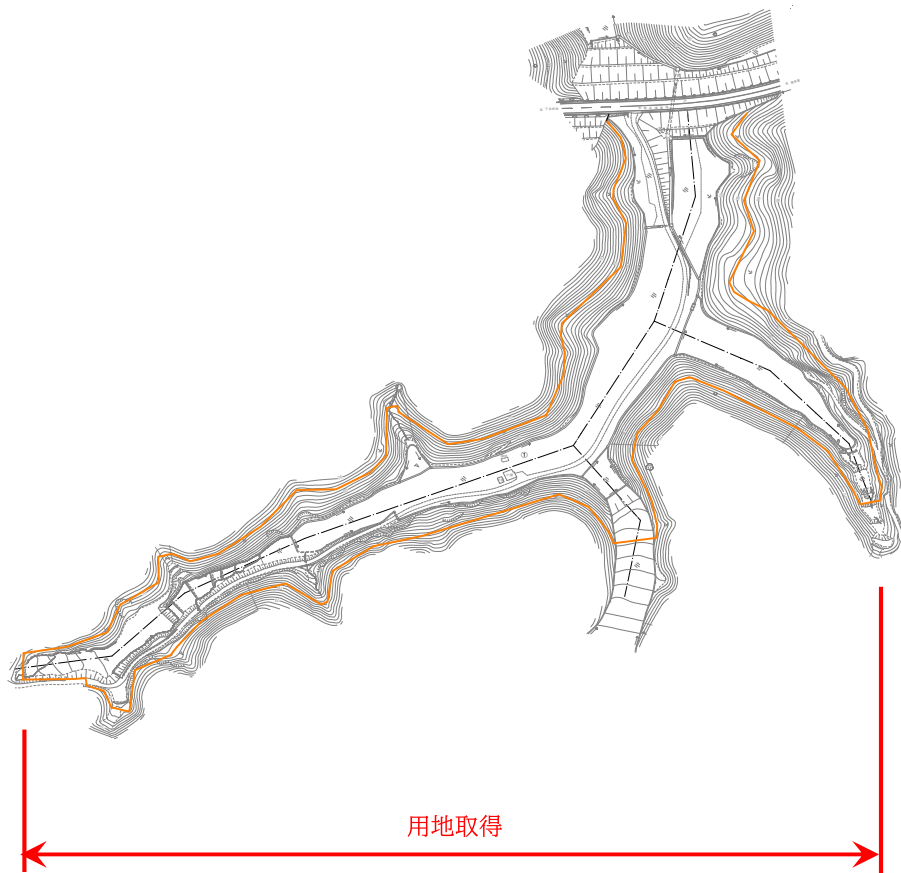
【中谷1号線道路改良事業】 2,114,830円 1,126,666円 0円 0円 988,164円

上吉田地区と大塚地区の往来の利便性を図るため、対面通行及び緊急車両の運行が可能な道路に整備する必要がある。

令和7年度は、本事業に関連した残土処理場の用地取得を実施した。

●土地購入費 2,114,830 円

中谷1号線道路改良工事に伴う土地購入



【繰越明許】

決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	45	原代宮内線道路改良事業費	款 08 土木費	
事業開始年度		平成31年度	項 02 道路橋りょう費	
事業進捗度		—	目 03 道路新設改良費	
当初予算額		0 円	目的	伯太町東母里地区と安田中地区を結ぶ重要な路線である原代宮内線に歩道を整備し、通学時の安全を確保する。
予算現額		38,870,000 円		
決算額 A		35,079,100 円		
財源内訳	国・県支出金	国		
	地方債	公共		
	その他			
	一般財源			
人件費コスト B		0.0人役	総事業費 A+B	35,079,100 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【原代宮内線道路改良事業費】	35,079,100円	20,597,000円	14,400,000円	0円	82,100円
----------------	-------------	-------------	-------------	----	---------

本路線は、伯太町東母里地区と安田中地区を結ぶ重要な路線となっている。しかしながら、現在の道路は通学路にもかかわらず歩道が未整備であることから、通学時の安全を確保するため歩道を整備する。

本年度は、道路改良工事及び水道管移転工事を行った。

● 工事請負費 27,138,100円

工事名

工事概要

工期（着工～実地完成）

・交通安全対策事業

道路改良延長 L=148.0m

R7.7.1～R8.1.30

原代宮内線道路改良工事

● 物件移転補償費 7,941,000円

・水道施設

決算事項別明細書

P54

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課		
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	45	原代宮内線道路改良事業費			款	08	土木費	
事業開始年度		平成31年度			項	02	道路橋りょう費	
事業進捗度		100%			目	03	道路新設改良費	
当初予算額		15,300,000 円		目的	伯太町東母里地区と安田中地区を結ぶ重要な路線である原代宮内線に歩道を整備し、通学時の安全を確保する。			
予算現額		14,300,000 円						
決算額 A		7,894,700 円						
財源内訳	国・県支出金		国					2,101,298 円
	地方債		過疎					5,400,000 円
	その他							0 円
	一般財源			393,402 円				
人件費コスト B		0.5人役	3,936,500 円	総事業費 A+B		11,831,200 円		

【事業名称】

事業費

国・県支出金

地方債

その他

一般財源

【原代宮内線道路改良事業費】

7,894,700円

2,101,298円

5,400,000円

0円

393,402円

本路線は、伯太町東母里地区と安田中地区を結ぶ重要な路線となっている。しかしながら、現在の道路は通学路にもかかわらず歩道が未整備であることから、通学時の安全を確保するため歩道を整備する。

令和7年度は、道路改良工事を行った。

● 工事請負費

7,894,700円

工事名

交通安全対策事業

原代宮内線道路改良工事

・ 原代宮内線道路改良工事

工事概要

道路改良延長

L=129.5m

工期（着工～実地完成）

R7.7.1～R8.1.30

R7.11.13～R8.1.30

交通安全対策事業

原代宮内線道路改良工事



着工前



竣工

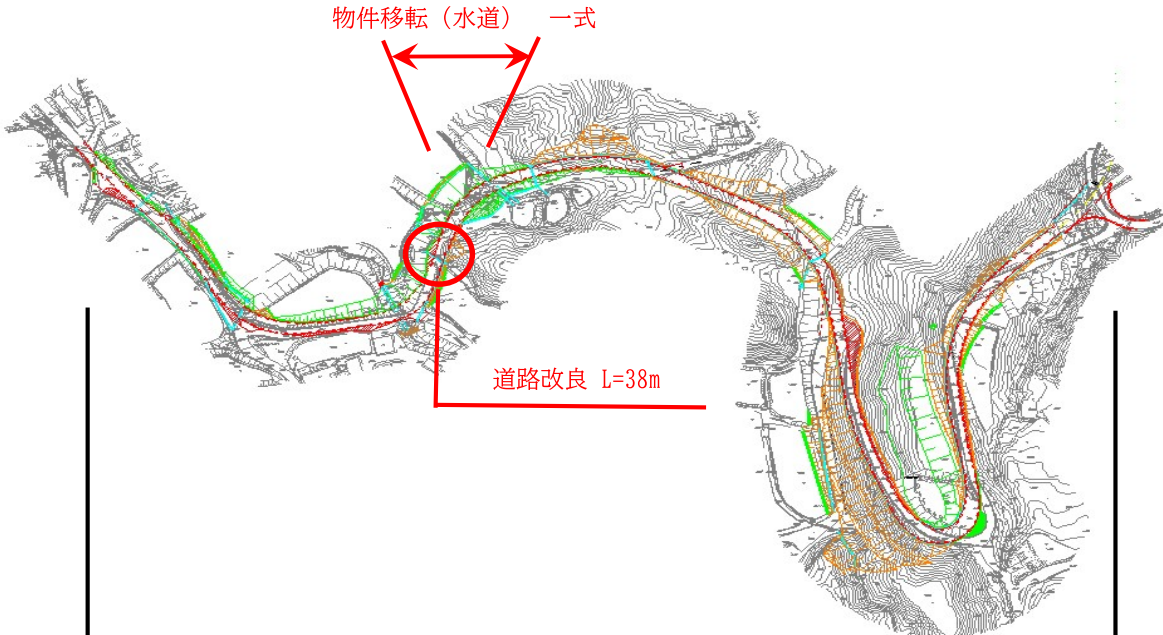
原代宮内線道路改良工事



着工前



竣工

					決算事項別明細書			P54	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署			土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		46	久之谷線道路改良事業費			款	08	土木費	
事業開始年度			平成31年度			項	02	道路橋りょう費	
事業進捗度			53%			目	03	道路新設改良費	
当初予算額			10,200,000 円		目的	下小竹地区と上小竹地区を結ぶ重要な路線である久之谷線の幅員を拡幅し線形改良し、公共交通の運行が可能となる利便性の高い道路として整備する。			
予算現額			8,984,000 円						
決算額 A			8,816,618 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債 辺地		8,800,000 円						
	その他		0 円						
	一般財源		16,618 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,723,800 円		総事業費 A+B		13,540,418 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【久之谷線道路改良事業】					8,816,618円	0円	8,800,000円	0円	16,618円
本路線は、伯太町下小竹を起点として県道本山伯太線に接続する道路であり、円滑なネットワークの一環として、下小竹地区と上小竹地区を結ぶ重要な路線となっている。しかしながら、現在の道路幅員は狭いうえに線形も悪く、対面交差が困難な状況となっている。このことから、道路の拡幅及び線形改良をすることにより公共交通の運行が可能となる利便性の高い道路として整備する。									
令和7年度は物件移転補償（水道）及び道路改良（水路工）を実施した。									
●物件移転補償費					4,284,000 円				
久之谷線道路改良工事に伴う水道管支障移転工事									
●工事請負費					4,514,400 円				
工事名					工事概要		工期（着工～実地完成）		
・久之谷線道路改良工事					改良延長 L=38m		R7.10.11～R8.3.19		
●消耗品費					18,218 円				
									
改良（総）延長 L=750.0m									

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	50	安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業費			款	08 土木費
事業開始年度		令和6年度			項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		－			目	03 道路新設改良費
当 初 予 算 額		0 円		目的	一般国道9号（安来道路）の安来IC～東出雲IC間に本線直結型の安来スマートインターチェンジ（仮称）を整備する。	
予 算 現 額		61,000,000 円				
決 算 額 A		60,323,828 円				
財源内訳	国・県支出金	国	32,100,000 円			
	地 方 債	公共	28,200,000 円			
	そ の 他		0 円			
	一 般 財 源		23,828 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B		60,323,828 円

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【安来スマートIC（仮称）側道整備事業（交付金）】 60,323,828円 32,100,000円 28,200,000円 0円 23,828円

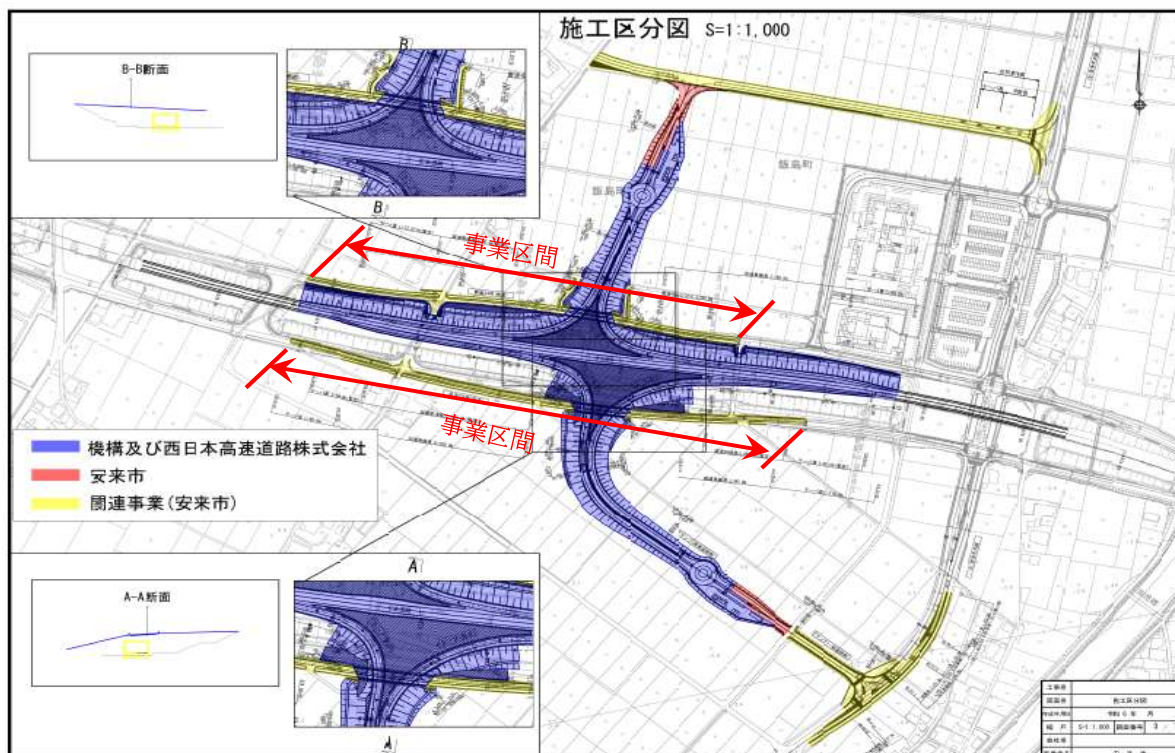
安来スマートICの整備に伴い、BOXカルバートの施工など安来道路側道（北側道西赤江安来線・南側道安来西赤江線）改良を一体的に行う。令和7年度は、測量及び地質調査業務の実施及びNEXCO西日本が実施した幅杭設計業務に係る負担金を支出した。

● 事業費

- ・測量設計委託料 57,225,300円
 - ・建設事業負担金 3,098,528円
- （事業主体：NEXCO西日本への負担金）

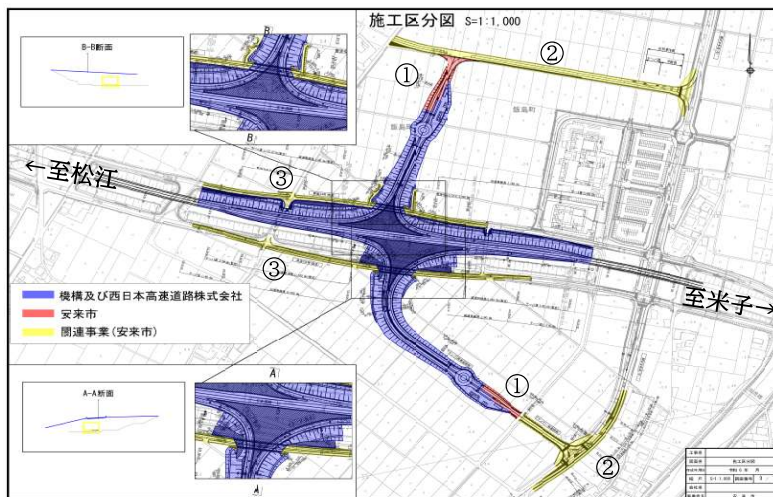
● 財源

- ・社会資本整備総合交付金 32,100,000円
- ・地方債（過疎債） 28,200,000円



※道路線形は、詳細設計、関係機関との協議等により変更があり得るものです。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【①安来スマートIC（仮称）整備事業（補助）】	1,532,660円	430,224円	1,100,000円	0円	2,436円
安来スマートインターチェンジ（仮称）（以下、「安来スマートIC」）は、令和6年9月6日に新規事業化となった。市が進める切川バイパス周辺の新たなまちづくりの推進、周遊観光の推進や物流の効率化など大きな整備効果が期待されることから、西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）と連携し整備を進める。 令和7年度は、主にNEXCO西日本が実施した測量業務に対する負担金を支払った。					
● 事業費		● 財源			
・ 建設事業負担金	1,532,660円	・ ICアクセス道路等補助金		430,224円	
（事業主体：NEXCO西日本への負担金）		・ 地方債（過疎債）		1,100,000円	
【②安来スマートIC（仮称）アクセス整備事業（補助）】	14,006,477円	6,278,508円	7,700,000円	0円	27,969円
安来スマートICの整備にあわせ、インターチェンジに接続するアクセス道を整備する。令和7年度は、主に測量業務や道路詳細設計業務を実施した。					
● 事業費		● 財源			
・ 測量設計委託料	12,900,000円	・ ICアクセス道路等補助金		6,278,508円	
・ 消耗品費外	1,106,477円	・ 地方債（過疎債）		7,700,000円	
【③安来スマートIC（仮称）側道整備事業（交付金）】	0円	0円	0円	0円	0円
安来スマートICの整備に伴い、BOXカルバートの施工など安来道路側道（北側道西赤江安来線・南側道安来西赤江線）改良を一体的に行う。令和7年度は、令和6年度国補正予算の採択に伴い繰越明許費により測量業務等を実施した。					



※道路線形は、詳細設計、
関係機関との協議等により
変更があり得るものです。

※翌年度繰越額 設計委託料、負担金 35,570,000円

NEXCO西日本発注の幅杭設計業務の進捗に合わせて事業を実施する必要があるため。

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	58	橋りょう維持費	款 08 土木費	
事業開始年度		令和6年度	項 02 道路橋りょう費	
事業進捗度		—	目 04 橋りょう維持費	
当初予算額		0 円	目的	橋りょう長寿命化の点検及び調査を実施する。点検結果に基づいて、早急に修繕が必要な橋りょうについて設計及び修繕工事を実施する。
予算現額		62,897,000 円		
決算額 A		60,791,500 円		
財源内訳	国・県支出金	国		
	地方債	過疎		
	その他			
	一般財源			
人件費コスト B	0.0人役	0 円	総事業費 A+B	60,791,500 円

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【橋りょう修繕事業】 60,791,500円 35,691,933円 24,400,000円 0円 699,567円

修繕計画に基づき老朽化した施設の維持・修繕を行い、橋梁の安全性を確保するとともに、河川施設の長寿命化と維持管理・更新費用の縮減・平準化を図った。

●工事請負費 53,049,700円

工事名	工事概要	工期
・道路メンテナンス事業 堂渡橋橋梁修繕工事	橋梁修繕 N=1 式	R7.3.31~R8.3.23
・道路メンテナンス事業 青木橋橋梁修繕工事	橋梁修繕 N=1 式	R6.10.17~R7.5.30
・道路メンテナンス事業 大渡橋橋梁修繕工事(その2)	橋梁修繕 N=1 式	R6.11.8~R7.6.30

大渡橋 施工状況写真



着工前



竣工



着工前



竣工

●設計委託料等 7,741,800円

業務名	業務概要	工期
・道路メンテナンス事業 社日橋橋梁補修調査設計業務	橋梁補修設計 N=1式	R6.11.12~R7.5.30
・安来市道路橋定期点検業務	道路橋点検 N=39橋	R7.8.2~R8.1.30

				決算事項別明細書			P55	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		58	橋りょう維持費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	02	道路橋りょう費
事業進捗度			－			目	04	橋りょう維持費
当初予算額			206,947,000 円		目的	橋りょう長寿命化の点検及び調査を実施する。点検結果に基づいて、早急に修繕が必要な橋りょうについて設計及び修繕工事を実施する。		
予算現額			197,279,000 円					
決算額 A			164,719,157 円					
財源内訳	国・県支出金	国	88,458,232 円					
	地方債	過疎外	58,500,000 円					
	その他		0 円					
	一般財源		17,760,925 円					
人件費コスト B		1.3人役	10,234,900 円		総事業費 A+B		174,954,057 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源								
【橋りょう修繕事業】127,405,368 円 73,579,543 円 51,400,000 円 0 円 2,425,825 円								
修繕計画に基づき老朽化した施設の維持・修繕を行い、橋梁の安全性を確保するとともに、河川施設の長寿命化と維持管理・更新費用の縮減・平準化を図った。								
●工事請負費								
・道路メンテナンス事業		島田1号橋橋梁修繕工事		橋梁修繕	N=1式	R7.8.5～R8.1.30		
・道路メンテナンス事業		三中渡橋橋梁修繕工事		橋梁修繕	N=1式	R7.10.4～R8.1.30		
・道路メンテナンス事業		天神橋橋梁修繕工事		橋梁修繕	N=1式	R7.8.29～R8.3.19		
・道路メンテナンス事業		宮の前橋橋梁修繕工事		橋梁修繕	N=1式	R7.10.9～R8.4.17		
・道路メンテナンス事業		堂渡橋橋梁修繕工事		橋梁修繕	N=1式	R7.3.31～R8.3.23		
・道路メンテナンス事業		小丸山橋橋梁撤去工事		橋梁撤去	N=1式	R7.9.4～R8.1.30		
●設計委託料								
・道路メンテナンス事業		社日橋橋梁補修調査設計業務		橋梁補修設計	N=1式	R6.11.12～R7.5.30		
・道路メンテナンス事業		上布部橋橋梁補修調査設計業務		橋梁補修設計	N=1式	R7.7.4～R8.3.19		
・道路メンテナンス事業		布部橋橋梁補修調査設計業務		橋梁補修設計	N=1式	R7.7.4～R8.3.19		
・道路メンテナンス事業		赤川橋橋梁補修調査設計業務		橋梁補修設計	N=1式	R7.7.8～R7.12.19		
・道路メンテナンス事業		上奈良井橋橋梁補修調査設計業務		橋梁補修設計	N=1式	R7.8.5～R8.3.19		
【道路橋りょう長寿命化点検調査事業】25,518,788 円 14,878,689 円 0 円 0 円 10,640,099 円								
道路法の維持管理関係における橋りょう点検を近接目視の原則に則り、1橋あたり5年に1度の頻度で行うことを基本として健全性の診断を行う。今年度は、橋梁点検車及びドローンを使用し165橋の点検を行った。								
								
【橋りょう維持事業】11,795,001 円 0 円 7,100,000 円 0 円 4,695,001 円								
●工事請負費								
・住吉高橋橋梁撤去工事				橋梁撤去	N=1式	R7.10.23～R8.2.20		
・十切橋橋梁修繕工事				橋梁修繕	N=1式	R8.2.5～R8.3.19		
・上佐久保橋橋梁撤去工事				橋梁撤去	N=1式	R7.12.10～R8.2.27		
※翌年度繰越額 工事請負費 30,591,000 円								
宮の前橋及び天神橋に係る橋梁修繕工事にあたり、有害塗膜の撤去等の検討について関係機関との調整に不足の期間を要したことから、年度内完了が困難となったため。								

【繰越明許】

決算事項別明細書

P55

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署			土木建設課	
中事業	40	上下水道の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	45	河川総務費		款	08	土木費	
事業開始年度		令和6年度		項	03	河川費	
事業進捗度		－		目	01	河川総務費	
当 初 予 算 額			0 円				
予 算 現 額			9,000,000 円				
決 算 額 A			7,950,800 円				
財源内訳	国・県支出金		目的	一級河川及び普通河川の維持管理等を行い、防災対策にあわせ環境美化を図る。			
	地 方 債	自然災害外					7,800,000 円
	そ の 他						0 円
一 般 財 源		150,800 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	7,950,800 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【河川維持管理事業】 7,950,800円 0円 7,800,000円 0円 150,800円

浸水の予防や高潮対策として緊急排水作業に使用するポンプを補修を行った。

● 工事請負費 1,900,800円

工事名

工事概要

工期

・西宮須2号排水ポンプ補修工事

ポンプ補修工 N=1式

R6.12.6～R7.4.30



補修前



補修後

・新川浚渫工事

浚渫工 V=76m³

R7.3.28～R7.6.30

● 機械器具費

6,050,000円

・可搬式排水ポンプユニット 1台

台風や豪雨による浸水被害等の発生時における緊急排水作業に対応するため、ポンプ及び操作制御盤の整備を行った。

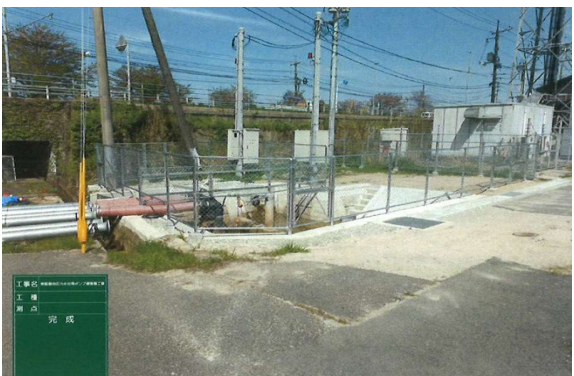


ポンプユニット一式



ポンプ

					決算事項別明細書			P55	
大 事 業		50	都市基盤・生活		担当部署			土木建設課	
中 事 業		40	上下水道の整備		予 算 科 目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		45	河川総務費			款	08	土木費	
事業開始年度			令和7年度			項	03	河川費	
事業進捗度			－			目	01	河川総務費	
当 初 予 算 額			42,044,000 円		目 的	一級河川及び普通河川の維持管理等を行い、防災対策にあわせ環境美化を図る。			
予 算 現 額			47,594,000 円						
決 算 額 A			46,755,141 円						
財 源 内 訳	国・県支出金	国	20,431,255 円						
	地 方 債	自然災害外	12,200,000 円						
	そ の 他		0 円						
	一 般 財 源		14,123,886 円						
人件費コスト B		0.9人役	7,085,700 円		総事業費 A+B		53,840,841 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【河川維持管理事業】					21,467,541円	8,398,255円	12,200,000円	0円	869,286円
一級河川及び普通河川の維持管理を行う。また、浸水の予防・高潮対策として、排水樋門の点検・操作を行った。									
● 樋門操作員報酬外					9,817,441円				
・ 樋門捜査員報酬（河川管理施設操作等）									
国土交通省					樋門26基、樋管2基、閘門6基				
島根県					樋門5基				
安来市					樋門3基				
・ 浄化槽保守点検委託料									
飯梨川公衆便所浄化槽維持管理業務									
・ その他（手数料・消耗品費等）									
● 工事請負費					11,650,100円				
工事名					工事概要		工期（着工～実地完成）		
・ 佐久保川護岸改修工事					護岸工	L=93.0m	R7.6.19～R8.2.27		
・ 松実川浚渫工事					浚渫工	L=330.0m	R8.2.6～R8.3.27		
【河川浄化対策事業】					24,695,800円	12,033,000円	0円	0円	12,662,800円
一級河川及び普通河川の草木の刈払いや土砂浚渫を行い、防災対策にあわせ環境美化を図った。									
● 河川浄化対策委託料					21,294,900円				
・ 業者委託					4件				
● 手数料					3,400,900円				
・ 自治会等					41件				
【高潮対策事業】					591,800円	0円	0円	0円	591,800円
● 高潮対策等委託料					591,800円				
業務名					業務概要		工期（着工～実地完成）		
西宮須高潮対策業務					高潮対策工	N=1箇所	R7.7.3～R7.11.28		

					決算事項別明細書			P55	
大 事 業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課		
中 事 業		40	上下水道の整備		予算科目	会 計	01	一般会計	
小 事 業		47	内水対策費			款	08	土木費	
事業開始年度			令和7年度			項	03	河川費	
事業進捗度			－			目	01	河川総務費	
当 初 予 算 額			8,500,000 円		目的	豪雨等の異常気象による家屋浸水被害・路面冠水等の被害を防ぐため、内水対策を行う。			
予 算 現 額			12,500,000 円						
決 算 額 A			2,700,000 円						
財源内訳	国・県支出金			0 円					
	地 方 債		自然災害	2,700,000 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			0 円					
人件費コスト B		0.2人役	1,574,600 円		総事業費 A+B		4,274,600 円		
【事業名称】					事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【内水対策事業】					2,700,000円	0円	2,700,000円	0円	0円
豪雨等により浸水被害を受けたエリアの排水路機能等調査及び対策検討を行い、改善に向けた施設整備に取り組む。令和7年度は東飯島地区内水対策ポンプ場の整備を行った。									
● 工事請負費					2,700,000円				
工事名					工事概要		工期（着工～工期末）		
・ 東飯島地区内水対策ポンプ場整備工事					ブロック積工ほか		R7.12.18～R8.5.15（※翌年度繰越）		
									
令和3年7月豪雨による浸水被害（東飯島地区）					東飯島地区内水対策ポンプ場				
※翌年度繰越額 工事請負費					9,800,000円				
東飯島地区内水対策事業については資材調達に不測の期間を要したことにより、飯生地区内水対策事業については関係者との調整により、各事業の年度内完了が困難となった。									

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	都市政策課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	一般会計
小事業	61	都市計画総務費		土木費
事業開始年度		令和7年度		都市計画費
事業進捗度		—		都市計画総務費
当初予算額		0 円	目的	健全で秩序ある都市の発展、適正な土地利用を図る。
予算現額		9,218,000 円		
決算額 A		9,218,000 円		
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	0 円		
	その他	0 円		
	一般財源	9,218,000 円		
人件費コスト B		0.0人役	総事業費 A+B	9,218,000 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【都市計画事業】	9,218,000円	0円	0円	0円	9,218,000円
線引き制度の存廃について検討するため、調査業務を委託した。					
●委託料（まちづくり検討資料作成業務委託料）		9,218,000円			

2-3.検証結果（まとめ）

1) 一次判断項目による検証結果（まとめ）

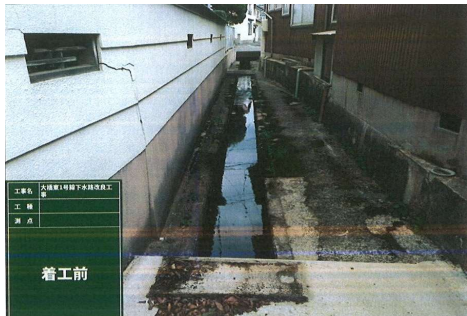
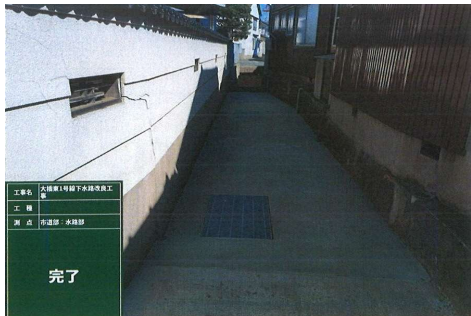
判断項目 (大項目)	判断概要	線引 効果
① 市街化圧力	市街化区域内における R2 から R17 までの土地需要比率 1.06>1.00（現在の市街化区域内農地面積を超過）であることから、安来市では、将来の人口・産業を適切に収容することは難しく、「市街化の圧力が非常に高い」と評価できます。	○
② 良好な市街地 形成	計画的な市街地形成や住宅開発が、土地区画整理事業や民間の宅地開発によって進められており、目指すべき都市の姿の実現に合致しています。市街化区域内の R2 時点の人口密度を見ると、40 人/ha 以上となっている地域の分布が多いものの、将来（R17）は、市街化区域内でも密度が低下しているため、一層土地利用誘導が必要です。空家の立地状況を見ると、市街化区域内に 250 件存在し、市街化調整区域とその他区域の 197 件よりも多いです。このことから、区域区分を継続する必要性が高いと評価できます。	○
③ 産業基盤の理 保	市街化区域内の中で産業に必要な用地が適切に確保されてきており、現行の土地利用コントロールに大きな課題はなく、製造品出荷額等については今後も増加する見込みであるため、区域区分を継続する必要性は高いと評価できます。 一方で、市街化調整区域にて営まれてきた産業（物流など）の作業環境の維持・向上、農業関連事業の撤退による跡地の有効活用などの観点から、市街化調整区域における土地利用制度の検討が望まれます。	○
④ 都市基盤施設 整備	安来市内の松江圏都市計画区域では、市街化区域を設定しており、都市基盤施設の整備や維持管理について、市街化区域内で集中的に行われてきましたが、都市計画道路の整備率を除いて、区域区分を設定している安来市より、区域区分を設定していない市町の方が整備率は高くなっています。そのため、今後も一層、都市基盤整備の集中的な整備や維持管理が必要であり、区域区分を継続する必要性が高いと評価できます。	○
⑤ 区域区分に関 連した要望と 地域が望むま ちづくり	安来市では、市街化調整区域において、無秩序な開発は抑制すべきとしつつも、区域区分に対する評価は低く、住宅開発を許容する意見や、ルール変更の検討が必要とする意見が多くありました。ただし、「わからない」という回答が多い事からも、土地利用規制のルール等について、十分な説明が必要であることがわかります。 また、田園環境を維持する観点より、たとえ小規模でも維持すべき集落が存在し、居住に係る土地利用のコントロールが求められています。	△
⑥ 市街化調整区 域の土地利用	市街化調整区域において、各種法規制等からも自然環境保全されており、市民アンケートからも、市街化調整区域における自然に対する満足度が高く、良好な自然環境の保全がうかがえます。ただ、市街化調整区域においては多くの地点で人口密度が低く、集落中心地における生活機能低下が懸念されます。開発許可条例により一定の効果は見られたものの、既存集落への人口集積という観点では、継続的な効果が高くなかったことがうかがえることから、より効果的な土地利用誘導を検討する必要性が高いと評価できます。	△
⑦ 各種施策の運 用	安来市では、農地の保全と既存集落の維持活性化の両立に向けた土地利用施策を進めており、地域の実情に応じた土地利用が可能となっているが、継続的な効果は高くないと判断されます。また、安来市民へのアンケート結果より、「地域の衰退を招いている」など、閉塞感を感じていることから、区域区分を継続しつつも市の主導による地域特性に応じたきめ細やかな土地利用誘導が必要です。	△

調査報告書の一部（検証結果のまとめ表）

				決算事項別明細書			P55	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		都市政策課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		61	都市計画総務費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	04	都市計画費
事業進捗度			－			目	01	都市計画総務費
当初予算額			45,058,000 円		目的	健全で秩序ある都市の発展、適正な土地利用を図る。		
予算現額			37,473,000 円					
決算額 A			35,785,285 円					
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県1/2	5,113,000 円					
	地方債		0 円					
	その他	基金外	15,722,381 円					
	一般財源		14,949,904 円					
人件費コスト B		3.9人役	30,704,700 円		総事業費 A+B		66,489,985 円	
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源								
【都市計画事業】31,125,118円 5,113,000円 0円 13,620,296円 12,391,822円								
健全で秩序ある計画的な都市の発展、適正な土地利用を図るため、課題整理（現状把握、将来都市像の把握、対象の選定、整備の必要性及び役割の検討）、土地利用規制対策等に関する事業を行う。また、区画整理組合の実施する土地区画整理の補助を行うことにより、良好なまちづくりの促進を図る。								
（事業費内訳）								
● 報酬（委員報酬、会計年度任用職員報酬）2,257,600円								
● 職員手当（会計年度任用職員手当等）751,725円								
● 共済費（組合負担金、社会保険料）494,304円								
● 報償費（委員謝礼）102,400円								
● 旅費（費用弁償、普通旅費）162,236円								
● 需用費（消耗品費）85,943円								
● 役務費（手数料）310円								
● 委託料（都市計画図修正業務委託料外）25,361,600円								
● 使用料及び賃借料（賃借料）171,000円								
● 負担金補助及び交付金（負担金）91,000円								
● 負担金補助及び交付金（土地区画整理事業補助金）1,647,000円								
補助金の額 幅員6m以上の道路の築造工事及び舗装工事に係る経費 補助率：1/5								
※翌年度繰越額 837,000円（都市計画基礎調査負担金）								
島根県が実施する都市計画基礎調査業務に係る負担金について、調整事項の増加により当該業務の期間が延長されたため。								
【土地開発公社負担金】239,000円 0円 0円 0円 239,000円								
土地開発公社の会計及び年次業務にかかる費用を負担金として支払う。								
（事業費内訳）								
● 負担金補助及び交付金（土地開発公社負担金）239,000円								
【汐彩管理事業】4,421,167円 0円 0円 2,102,085円 2,319,082円								
ハーモニータウン汐彩の植栽や公衆用トイレの管理を行う。								
（事業費内訳）								
● 需用費（消耗品費、光熱水費）167,653円								
● 役務費（手数料）136,400円								
● 委託料（植栽管理業務委託料外）1,916,200円								
● 負担金補助及び交付金（水道事業会計負担金）2,200,914円								

				決算事項別明細書			P55	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		都市政策課	
中事業		10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		64	国・県事業推進費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	04	都市計画費
事業進捗度			—			目	01	都市計画総務費
当初予算額			1,754,000 円		目的	国・県事業の推進を図る。		
予算現額			1,754,000 円					
決算額 A			1,739,716 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債		0 円					
	その他		0 円					
	一般財源		1,739,716 円					
人件費コスト B			1.4人役	11,022,200 円	総事業費 A+B		12,761,916 円	
【事業名称】								
【国・県事業推進費】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,739,716円	0円	0円	0円	1,739,716円	
国・県事業の推進のため、関係機関との連絡調整を行った。また、早期進捗が図られるよう要望活動、事業協力を行った。								
● 旅費			63,150円					
● 需用費			5,416円					
● 負担金補助及び交付金			1,671,150円					
山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会外13団体								
								
山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会2025								
								
中海・宍道湖8の字ルート整備促進総決起大会								

					決算事項別明細書			P56							
大 事 業		50	都市基盤・生活		担当部署			土木建設課							
中 事 業		30	公園・緑地の整備		予 算 科 目	会 計	01	一般会計							
小 事 業		15	公園管理費			款	08	土木費							
事業開始年度			令和7年度			項	04	都市計画費							
事業進捗度			－			目	02	公園費							
当 初 予 算 額			35,815,000 円		目 的	公園の維持・管理を行うことで、環境保全や市民の生活向上に寄与する。									
予 算 現 額			36,315,000 円												
決 算 額 A			34,734,714 円												
財 源 内 訳	国・県支出金			0 円											
	地 方 債		過疎	1,600,000 円											
	そ の 他		基金	30,000,000 円											
	一 般 財 源			3,134,714 円											
人件費コスト B		1.0人役	7,873,000 円		総事業費 A+B		42,607,714 円								
【事業名称】									事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
【公園管理事業】									32,367,714円	0円	0円	30,000,000円	2,367,714円		
都市公園6箇所、児童遊園11箇所等、約40箇所の公園・緑地の維持管理に併せ、各施設の修繕を行い市民の憩い・交流の場の維持管理に努めた。															
●光熱水費、燃料費														1,036,351 円	
●消耗品														299,315 円	
●公園施設点検・公園緑地維持管理委託料														18,327,650 円	
●公園緑地指定管理委託料														5,026,000 円	
●清掃委託料														2,635,600 円	
●修繕料（維持）														924,220 円	
●手数料														995,340 円	
●敷地借上料														790,664 円	
●負担金補助及び交付金														2,332,574 円	
・ 中海干拓地特別賦課金															
【公園等施設改修事業】									2,367,000円	0円	1,600,000円	0円	767,000円		
●工事請負費									2,367,000 円						
工事名					工事概要					工期（着工～実地完成）					
・ なぎさ公園駐車場トイレ施設修繕工事					間仕切修繕 N=2箇所					R7.8.19～R7.12.12					
・ 安来市道路公園付属設備改修工事					街路灯修繕 N=2箇所					R7.8.27～R7.12.19					

				決算事項別明細書			P56	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業		40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		50	下水路改良費			款	08	土木費
事業開始年度			令和7年度			項	04	都市計画費
事業進捗度			－			目	03	都市下水路費
当初予算額			6,000,000 円		目的	雨水・生活雑排水の汚臭及び流水の沈滞をなくし、快適な生活環境づくりを図る。		
予算現額			6,000,000 円					
決算額 A			5,940,000 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債	公共施設	3,500,000 円					
	その他		0 円					
	一般財源		2,440,000 円					
人件費コスト B			0.2人役	1,574,600 円	総事業費 A+B		7,514,600 円	
【事業名称】								
【下水路改良事業】			5,940,000円	0円	3,500,000円	0円	2,440,000円	
まちづくりの基盤となる生活環境保全を図るとともに、雨水及び生活雑排水の汚臭並びに流水の沈滞を解消するため、市民生活に密着した下水路の整備に取り組む。本年度はその中でも緊急性・重要性が高い箇所と、継続して工事を進めている神塚下水路等の整備を行った。								
● 工事請負費			5,940,000 円					
工事名			工事概要			工期（着工～実地完成）		
・ 神塚下水路改良工事			水路工			L= 30.0 m R7.7.5～R7.10.31		
・ 大橋東1号線下水路改良工事			水路工			L= 12.3 m R7.9.13～R7.11.28		
・ 大橋東4号線下水路改良工事			水路工			L= 15.0 m R7.9.23～R7.12.12		
・ 川尻下水路改良工事			水路工			L= 25.0 m R8.1.29～R8.3.19		
神塚下水路改良工事								
								
着工前			竣工					
大橋東1号線下水路改良工事								
								
着工前			完了					
着工前			竣工					

				決算事項別明細書			P56	
大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		下水道課		
中事業	40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	55	企業会計負担金費（下水道事業・公共）			款	08	土木費	
事業開始年度		令和7年度			項	05	下水道費	
事業進捗度		－			目	01	下水道費	
当 初 予 算 額		523,575,000 円		目的	安来市下水道事業に対して経費（公共）の一部を負担することにより経営の安定を図る。			
予 算 現 額		525,624,000 円						
決 算 額 A		525,624,000 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地 方 債		0 円					
	そ の 他		0 円					
	一 般 財 源		525,624,000 円					
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B		525,624,000 円		
【事業名称】				事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【企業会計負担金費（下水道事業・公共）】				525,624,000円	0円	0円	0円	525,624,000円

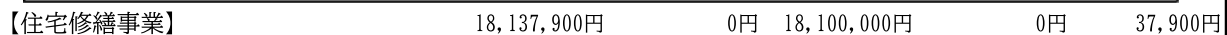
					決算事項別明細書			P56	
大事業		50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課	
中事業		40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計
小事業		60	企業会計負担金費（下水道事業・特定環境保全）				款	08	土木費
							項	05	下水道費
							目	01	下水道費
事業開始年度			令和7年度			目的	安来市下水道事業に対して経費（特定環境保全）の一部を負担することにより経営の安定を図る。		
事業進捗度			－						
当初予算額			116,044,000 円						
予算現額			116,344,000 円						
決算額 A			116,344,000 円			財源内訳			
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他		0 円						
	一般財源		116,344,000 円						
人件費コスト B		0.0人役	0 円			総事業費 A+B		116,344,000 円	
【事業名称】			事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源		
【企業会計負担金費（下水道事業・特定環境保全）】			116,344,000円	0円	0円	0円	116,344,000円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市営住宅管理代行及び業務委託事業】	43,061,700円	0円	0円	43,061,700円	0円

● 住宅使用料

● 駐車場使用料

●合計



【住宅管理・施設営繕事業】	22,441,137円	0円	0円	7,388,887円	15,052,250円
---------------	-------------	----	----	------------	-------------

● 旧市営長谷津団地譲渡事業

民間住宅地として活用する方針とし、解体条件付き入札を実施し民間事業者と譲渡契約を行った。また、宅地分譲に必要な周辺整備工事に向け協議を行った。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【建築指導事務等】	7,511,314円	0円	0円	1,237,958円	6,273,356円

特定行政庁権限による適切な指導、監督及び事務を行い、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある良好な住環境の形成、安全安心なまちづくりの推進により、市民サービスの向上を図った。

建築物の耐震改修促進法により耐震診断結果の報告が義務付けられた民間の通行障害既存耐震不適格建築物であるものについて、耐震診断に要する費用の一部を助成した。

● 耐震診断費 (1件)



安来庁舎・広瀬中央交流センター・伯太庁舎にて
住宅耐震化啓発パネル展示を実施

				決算事項別明細書				P56	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		建築住宅課		
中事業		20	住環境の整備		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		28	空家等対策事業費			款	08	土木費	
事業開始年度			令和7年度			項	06	住宅費	
事業進捗度			－			目	01	住宅管理費	
当初予算額			20,303,000 円		目的	安来市空家等対策計画に基づき空家の発生抑制の啓発、空家の利活用及び適正管理の促進、管理不全空家等及び特定空家等に対する認定及び措置を行う。			
予算現額			14,106,000 円						
決算額 A			11,264,866 円						
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県	3,496,000 円						
	地方債		0 円						
	その他		0 円						
	一般財源		7,768,866 円						
人件費コスト B		4.3人役	33,853,900 円		総事業費 A+B		45,118,766 円		
【事業名称】事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源									
【空家等対策事業】11,264,866円 3,496,000円 0円 0円 7,768,866円									
安来市空家等対策計画に基づき空家の発生抑制の啓発、空家所有者への利活用及び適正管理の助言指導、空家等に対する認定及び措置を実施した。									
● 空き家対策に係る事業費 4,142,066円									
・ 空き家所有者の調査及び適正管理に関する助言、指導等を実施									
・ 空き家対策等啓発セミナーを開催									
・ 空き家管理システムを安来市統合型GISのサブシステムへ移行									
● 老朽危険建築物等除却助成 1,900,000円									
老朽化による倒壊等危険性のある建築物の除却により、居住環境及び安全性の向上を図り安全安心なまちづくりを推進するため、制度要綱に基づいた支援事業を実施した。									
・ 不良住宅〔2件〕									
司法書士による わたしと わが家の 終活セミナー 令和8年1月23日（金） 受付13:00- 講演13:30- ワークショップ14:40- 相談会15:00- 【参加料】無料【会場】安来市防災研修棟（安来東工金庫所隣） 講演 第1部「直視しよう、空き家！」 講師：司法書士 廣 貴志 氏 第2部「安来市の制度や仕組み」 講師：安来市産業振興課 廣き南村 氏 ワークショップ わが家の将来を家族で考えるために 「住まいの別荘化ノート」を使いながらみんなで考えます。 相談会 2組限定無料相談会（要電話予約） 申込期間：令和8年1月6日（火）9：00～1月19日（月）17：00 【申込方法】 ・ 講演・ワークショップ・相談又は2次完コードからお申し込みください。 ・ 相談会（令和8年1月19日（月））は9時から18時（月）17:00の間に、電話で お申し込みください。先着2組限ります。 【問合せ・申込先】建築住宅課空家対策係 0854-23-3343（直通） 主催 安来市 共催 安来市地域包括支援センター 後援 鳥取県司法書士協会安来支部									
空家対策等啓発セミナーのチラシ									
● 特定空家等の除却 5,222,800円									
略式代執行の実施 赤江町地内 1件									
除却前 					除却後 				

					決算事項別明細書			P57	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署			建築住宅課	
中事業		20	住環境の整備		予算科目	会計	01	一般会計	
小事業		30	公営住宅整備事業費			款	08	土木費	
事業開始年度			令和7年度			項	06	住宅費	
事業進捗度			－			目	02	住宅建設費	
当 初 予 算 額			344,419,000 円		目的	公営住宅等長寿命化計画に基づき、住宅整備に係る事業を行う。			
予 算 現 額			280,330,000 円						
決 算 額 A			280,272,195 円						
財源内訳	国・県支出金		国45%	67,591,000 円					
	地 方 債		公営住宅	197,200,000 円					
	そ の 他			0 円					
	一 般 財 源			15,481,195 円					
人件費コスト B		1.2人役	9,447,600 円	総事業費 A+B			289,719,795 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【公営住宅等整備事業】	280,272,195円	67,591,000円	197,200,000円	0円	15,481,195円

安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存及び将来の公営住宅等の整備に係る事業を行った。

- 市営大塚団地整備事業（社会資本整備総合交付金対象事業：交付率≒45%）
市営大塚団地は、現在の末広・大栄団地を用途廃止し、令和6年度～9年度にかけて20戸を整備する計画としている。
令和6年度から7年度にかけて第1期工事で6戸を建設・入居が完了した。また、令和7年度から8年度にかけて第2期工事を行っており、令和7年度は末広団地の9棟18戸の解体が完了した。



第1期工事で完成した住宅外観



第2期工事区画の解体撤去完了後

決算事項別明細書

P57

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		建築住宅課	
中事業	20	住環境の整備		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	35	公営住宅等ストック総合改善事業費			款	08	土木費
事業開始年度		令和7年度			項	06	住宅費
事業進捗度		－			目	02	住宅建設費
当初予算額		26,228,000 円		目的	公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化の進む公営住宅等ストックについて順次改善工事を行い、効率的に長寿命化を図る。		
予算現額		22,582,000 円					
決算額 A		19,622,910 円					
財源内訳	国・県支出金	国45%	1,116,000 円				
	地方債	公営住宅	16,200,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		2,306,910 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,511,100 円	総事業費 A+B		25,134,010 円	

【事業名称】

事業費

国・県支出金

地方債

その他

一般財源

【公営住宅等長寿命化改善事業】

19,622,910円

1,116,000円

16,200,000円

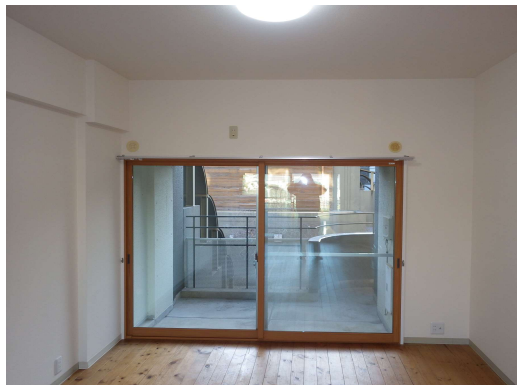
0円

2,306,910円

安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存市営住宅ストックをより効率的かつ長期的に活用するため、老朽化の進む既存市営住宅の改善工事を行い優良住宅形成に努めた。

● 市営糺団地ストック総合改善工事（社会資本整備総合交付金対象事業：交付率≒45％）

糺団地1戸の内部改善工事を行った。



内部改修



洗面台更新

● その他の改善事業

和田団地外部倉庫改築工事、安田団地電気温水器更新工事、栄町ハイツ外壁改修工事等の設計、そのほか団地全体の維持修繕に必要な修繕工事を行った。

和田団地外部倉庫



改築前



改築後

				決算事項別明細書			P57	
大事業		50	都市基盤・生活		担当部署		用地開発課	
中事業		20	住環境の整備		予算科目	会計	01	一般会計
小事業		40	用地開発総務費			款	08	土木費
事業開始年度		令和7年度		項		07	用地管理費	
事業進捗度		－		目		01	用地管理費	
当 初 予 算 額			8,999,000 円		目的	道路改良等の公共事業に係る用地の取得及び損失補填の事務や市道・法定外公共物の境界確認、用途廃止等の事務を行い、公共用地の適切な管理を図る。		
予 算 現 額			7,990,000 円					
決 算 額 A			7,665,174 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地 方 債		0 円					
	そ の 他		0 円					
	一 般 財 源		7,665,174 円					
人件費コスト B		2.7人役	21,257,100 円		総事業費 A+B		28,922,274 円	
【事業名称】				事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【用地補償・用地管理】				7,665,174円	0円	0円	0円	7,665,174円
道路改良等の公共工事にかかる用地取得及び損失補填のための交渉及び登記申請等の事務を行った。 市道・法定外公共物の境界確認立会・用途廃止等の事務を実施した。								
●公共工事等にかかる用地取得				19筆				
●公共工事等にかかる損失補填				21件				
●道路用地寄付				11筆				
●官民境界確定申請				66件				
●用途廃止申請				8件				
●境界杭復元業務委託				1件				
								
官民境界確定・寄付申請に伴う現地立会調査								

決算事項別明細書				P57
大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	用地開発課
中事業	20	住環境の整備	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	50	地籍調査費		款 08 土木費
事業開始年度		令和7年度		項 07 用地管理費
事業進捗度		—		目 01 用地管理費
当初予算額		62,728,000 円	目的	土地の権利を明確化することにより、境界紛争や境界の不明確化を防ぐとともに、固定資産税の適正化、公共事業の円滑化を図る。
予算現額		41,246,000 円		
決算額 A		40,704,433 円		
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県1/4		
	地方債			
	その他	諸収入		
	一般財源			
人件費コスト B		2.8人役	総事業費 A+B	62,748,833 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地籍調査事業】	40,704,433円	30,144,000円	0円	16,728円	10,543,705円

安来市の地籍調査は、概ね現地調査着手から登記完了まで3年で行っており、1年目に現地調査、2年目に成果である地籍簿・地籍図の作成、3年目に登記としている。

地籍調査対象面積は387.21km²（公有水面等を除く。）で、令和7年度末調査完了面積（2年目完了面積）は101.35km²（圃場整備等を含む。）。進捗率は26.17%となった。

